

課題名：「I型アレルギーおよび自己免疫性慢性じんましの新規検査法の開発」について

○ 研究の意義・目的

現在行われているI型アレルギー（食物アレルギー、薬剤アレルギー、アレルギー性鼻炎）や慢性じんましん検査は、患者ではない人が陽性と判定されたり、患者が陰性と判定されたりするなど、検査の正確性に問題があります。

本研究では、Alpha法（2つの物質の接近を検出する方法の一つ）を用いて、I型アレルギーや慢性じんましの新しい検査方法を開発します。この研究を行うことで、正確な検査が実施できるようになると期待されています。

○ 研究対象者

2000年1月1日から2020年4月7日までに、広島大学病院皮膚科でI型アレルギー（食物アレルギー、薬剤アレルギー、アレルギー性鼻炎）や慢性じんましんによる治療を受けられた患者さんで、検査のために採血された患者さんを対象とします。

○ 研究方法

検査のために取得し保管してある血清、および、診療録（カルテ）情報を用いて、新しい検査方法の開発研究を行います。

カルテから転記する内容は、年齢、性別、臨床症状、診断名、総IgE値、特異IgE抗体価、プリックテスト検査、食物運動負荷試験、ヒスタミン遊離試験結果、好塩基球活性化試験結果、自己血清皮内テスト検査、病歴、既往歴です。個人が特定出来る情報は転記しません。なお、ヒスタミン遊離試験未実施の患者さんについては、既存血清を用いて実施します。

また、島根大学医学部皮膚科と共同で研究します。広島大学に情報を集め広島大学（研究責任者 松尾裕彰）が解析します。解析結果は、島根大学医学部皮膚科と共有しますが、個人を特定できないようデータを加工することにより個人情報漏洩には十分注意します。

○ 試料・情報の管理責任者 広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間 2020年4月7日～2026年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院薬剤部

教授 松尾 裕彰（研究責任者） TEL：082-257-5570（直通）

広島大学大学院医系科学研究科 皮膚科

助教 高萩 俊輔（研究分担者） TEL：082-257-5478（皮膚科外来）